

「変革の時代への対応」



チッソ旭肥料株式会社
常務取締役 柴田 勝

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、読者の皆様方におかれましては本年が実り多い年でありますよう、お祈り申し上げます。

昨年は、経済面では景気が上向きになってきたというものの、実感としてそのことが感じられないまま早くも円安基調になり、少し不透明感が感じられるようになってきました。政治・行政面では円滑にその機能が発揮されるよう熱望する世論が高まった年の様に思われます。

昨年の世想を表わすキーワードは「発見途上」とのこと、行きつ戻りつしながら問題を解決して、速度を早めながら変革を遂げていくものと思われま

す。農業を取り巻く環境も同様で、例えば新食糧法が施行された米の生産、流通は試行錯誤を繰り返しながら、食糧自給の重要性を認識しつつ、国際競争力をつけるための様々な努力がなされていくものと思われま

す。豊かな農業を目指して現実的な問題解決をはかる農業界と歩調を合わせて生産資材を提供する事業者も一層の努力を図らねばならないと感じております。

で農業の要望を先取りした機能性肥料「LPコート®」「ロング®」を上市し、皆様方の広いご愛顧をいただき、両肥料とも「環境にやさしい肥料」の代表として認めていただけるようになりました。また、緩効性窒素質肥料「CDU®」、硝酸系高度化成肥料「隣硝安加里®」、泡状高度化成肥料「あさひポラス®」、育苗床土資材「与作®」、打ち込み肥料「グリーンパイル®」など特色ある商品も開発致しております。

今後も皆様のご要望にお応えしながらこれらの商品の改良を進めるとともに、変化していく農業にそった新しい肥料や資材の開発にも取り組む所存でおります。

発刊以来ご愛読いただいております「農業と科学」につきましても各方面の方々の研究成果をご紹介させていただきながら、新技術の紹介、普及にいささかなりともお役に立てればと願っておりますが、更に編集に工夫をこらして内容の充実

に努めたいと考えております。本年も相変わらず本誌をご愛読いただきますとともに、積極的なご意見、ご批判を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本号の内容

§ 「変革の時代への対応」	1
	チッソ旭肥料株式会社 常務取締役 柴田 勝
§ 生命にとって塩とは何か	2
—生物と塩との関係史—	京都大学名誉教授 近畿大学農学部教授 高橋 英一
§ 秋田県大潟村での水稻育苗箱全量施肥栽培の効果	4
	秋田県昭和地域農業改良普及センター 技師 田口 嘉浩